

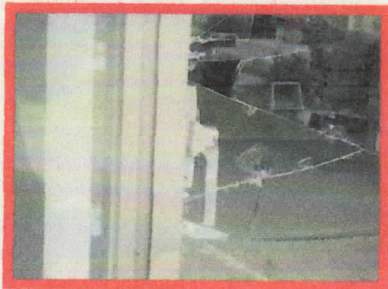
平成27年中

9年連続ワースト1位!!

住宅を対象とした 侵入盗の実態

愛知県版

実態編



1 愛知県の被害件数は全国ワースト1位

愛知県の住宅を対象とした侵入盗の件数は、年々減少傾向にあります。平成19年から平成27年まで9年連続「全国ワースト1位」です。

さらに、平成27年はワースト2位との差が約1,000件あり、全国的に見ましても突出した発生が続いています。

住宅を対象とした侵入盗

4,900件 前年比-6.0%	空き巣	忍込み	居空き
	3,678件 前年比-10.2%	1,001件 前年比+8.5%	221件 前年比+13.3%
全国ワースト1位	全国ワースト1位	全国ワースト2位	全国ワースト2位

住宅対象侵入盗：空き巣、忍込み、居空きの3つを指す

○空き巣…留守中の住居に侵入し、金品を盗む手口

○忍込み…夜間就寝中などに侵入して金品を盗む手口

○居空き…入浴中、食事中などのスキに侵入して金品を盗む手口

2 市区町村別認知件数ランキングと犯罪

1位「一宮市」、2位「豊田市」、3位「春日井市」
あなたの住む街は？〔多発上位50市区町村(名古屋市を除く)〕

順位	市区町村	認知件数	犯罪率	順位	市区町村	認知件数	犯罪率	順位	市区町村	認知件数	犯罪率	順位	市区町村	認知件数	犯罪率
1位	一宮市	405	2.84	14位	名東区	111	1.50	27位	南区	73	1.19	40位	津島市	48	2.02
2位	豊田市	199	1.20	15位	西区	107	1.56	28位	長久手市	72	2.95	40位	中区	48	0.92
3位	春日井市	191	1.53	16位	安城市	106	1.51	29位	瑞穂区	70	1.45	42位	豊明市	46	1.66
4位	緑区	183	1.96	17位	守山区	101	1.45	29位	瀬戸市	70	1.38	43位	東郷町	38	2.42
5位	岡崎市	182	1.27	18位	小牧市	100	1.73	31位	大府市	65	1.84	44位	半田市	37	0.80
6位	豊橋市	158	1.10	19位	昭和区	97	1.78	32位	港区	63	1.06	45位	碧南市	36	1.39
7位	稲沢市	150	3.02	19位	北区	97	1.30	33位	東海市	62	1.36	46位	大治町	33	2.76
8位	中川区	136	1.44	21位	西尾市	94	1.63	34位	東区	61	1.53	47位	知多市	32	0.99
9位	千種区	132	1.60	22位	清須市	93	3.56	35位	愛西市	56	2.61	48位	犬山市	31	1.10
10位	豊川市	123	1.84	23位	北名古屋市	92	2.72	36位	知立市	53	1.82	49位	幸田町	30	2.22
11位	刈谷市	120	1.98	24位	天白区	88	1.21	37位	日進市	51	1.43	50位	蟹江町	28	1.90
12位	あま市	116	3.53	25位	江南市	84	2.27	38位	弥富市	50	3.12				
13位	中村区	113	1.61	26位	みよし市	74	3.37	39位	尾張旭市	49	1.52				

犯罪率：1,000世帯あたりの認知件数
平成27年1月1日現在の世帯数をもとに算出

3 被害の実態

(1) 被害総額及び被害品ランキング

住宅対象侵入盗

	合計	1件当たり
被害総額	約49億3,900万円	約100万8,000円
うち現金被害	約10億5,800万円	約21万6,000円

被害総額は、49億円を超えるなど前年を大きく上回り、また、自動車を盗まれる被害も発生し、1件当たりの被害額は約100万円（全国ワースト1位）という多額となっております。

多額の現金は手元には置かず、自動車等の鍵も、玄関先等に置かないようにしましょう。



○現金以外の被害品ランキング

順位	現金以外の被害品	認知件数
1位	バッグ・財布類	1,077
2位	貴金属・宝石等	892
3位	カード類	773
4位	時計類	625
5位	預金通帳・預金証書	375
6位	身分証明書類	353
7位	有価証券類	270
8位	家電製品類	255
9位	娯楽用品類	177
10位	衣料品類	156

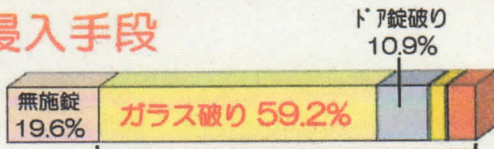
※ 被害品目が複数ある場合は、それぞれ計上しています。

(2) 空き巣と忍込み・居空きの実態

空き巣

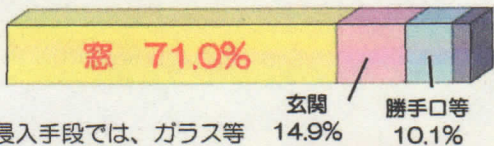
- 前年に比べ認知件数は減少しましたが、未だ全国ワースト1位となっており、全国的に見ても突出した発生となっております。
- 愛知県の特徴として、ガラスやドア等の建物部品を破壊等して侵入する被害が多く、施錠だけでは侵入を防げない現状となっております。
- 夕方から夜にかけての時間帯は、電気のついていない家が留守であるとわかるため、狙われやすくなっていると思われます。

侵入手段



破壊等 約80%

破壊等された侵入か所



侵入手段では、ガラス等を破壊等して侵入する手口が全体の約80%を占め、破壊等された建物部品は、窓が約71%ですが、勝手口等の割合が年々増加しています。

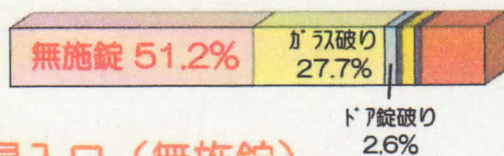
施錠を確実にし、CP建物部品や補助錠等で、建物部品の強化をしましょう。



忍込み・居空き

- 「忍込み」「居空き」の認知件数は、前年に比べ増加し、「忍込み」「居空き」共に全国ワースト2位の多発手口となっております。
- 「忍込み」「居空き」共に、家人が在宅中に犯人が侵入するもので、侵入に気づいた場合に、強盗や殺人などの凶悪犯罪に発展するおそれがあるため非常に危険です。

侵入手段



無施錠 (無施錠)



侵入手段では、「無施錠」箇所からの侵入が約51%と多くなっています。

無施錠箇所からの侵入口は、窓、玄関の順ですが、勝手口の無施錠スライド窓を開けて侵入される手口も発生しています。

不在の部屋の施錠や、就寝前の施錠を習慣づけましょう。

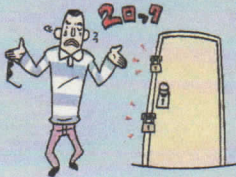


1 防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づく対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。



侵入までに時間のかかる建物部品を！



家の周りを明るく！



警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる！



住民同士の連携、不審者への声掛けを！

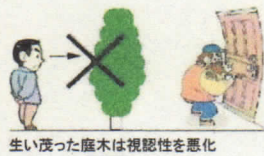


2 防犯環境設計

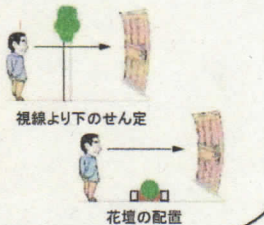
「防犯環境設計」とは、犯罪企図者に犯罪を「やりにくい」、「やめよう」と思わせる工夫をした建物や住環境の設計のことです。防犯環境設計には4つの基本的な原則（要素）があり、これらを組み合わせて導入することが重要です。

監視性の確保

- 庭木のせん定、花壇の配置、メッシュ柵の活用などにより、自然な監視性を確保する。



- センサーライト、門灯などを配置して夜間の見通しを確保する。



領域性の確保

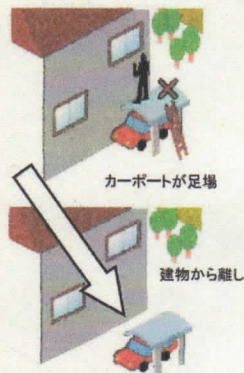
- 住民同士のあいさつ運動などを展開し、不審者を寄せ付けない環境を形成する。



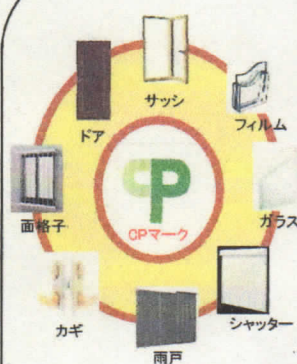
- 地域のコミュニティを活性化し、地域全体の領域性を高める。

- カギ付の門扉を設置するなど、建物そのものに近づけさせない。

- 塀、カーポート、物置を建物から離して設置したり、エアコンの室外機を窓の下に設置しないなどし、高窓、2階への足場を利用させない。



接近の制御

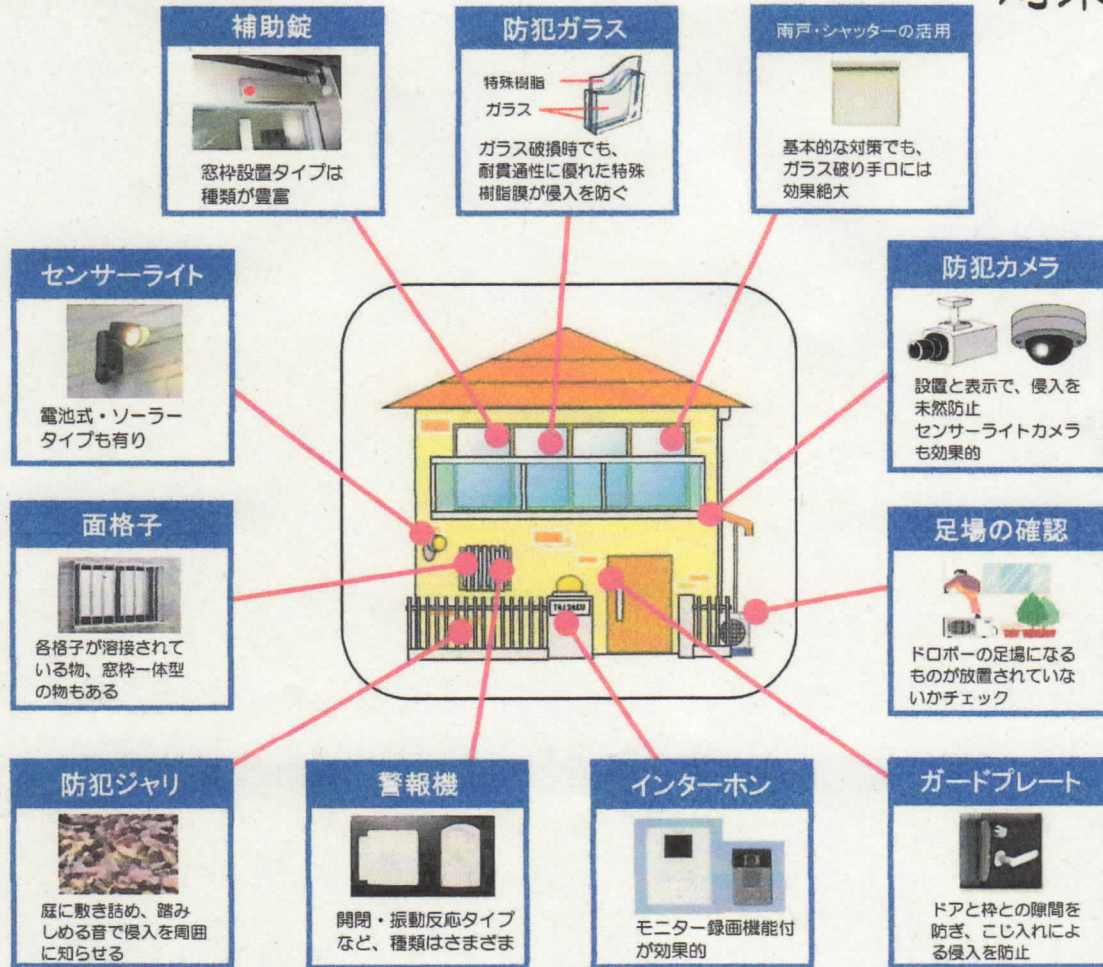


- 「CP建物部品」でドア、窓、面格子などを強化する。

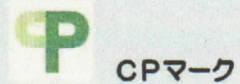
- 補助錠、サムターンカバーなどで、窓、ドアの防犯性を補強する。

対象物の強化

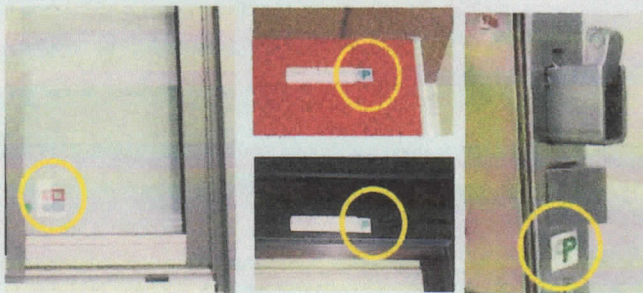
3 具体的な防犯対策



ドロボウと闘う『CP建物部品』って何？



警察庁が国土交通省や経産省、さらに建物部品関連の民間5団体と共に設置した官民合同会議にて、ドアや窓等の各建物部品について耐性試験、検討を重ね、「侵入までに5分以上の時間を要する」等一定の防犯性能があると評価した建物部品を「防犯性の高い建物部品＝CP建物部品」として公表しました。 ※ CP (Crime Prevention) =防犯



侵入までに5分かかるとドロボウの約7割が犯行をあきらめるというデータがあります。

CPマークは、ドア、錠、ガラス、サッシ、シャッター等17種類3,200品目以上に使用されています。



★ 身近な犯罪情報、不審者情報は
メールマガジン「パトネットあいち」から
お住まいの地域で発生した犯罪や不審者の情報をタイムリーに
配信します。登録は右のQRコードから！！

